



株式会社 中北製作所

第99期 年次報告書

2024年6月1日～2025年5月31日

業績のハイライト

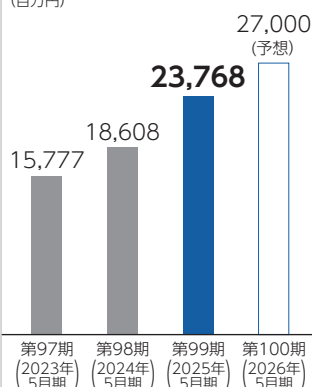
2025年5月期 業績

売上高

23,768 百万円

前期比 —

(百万円)

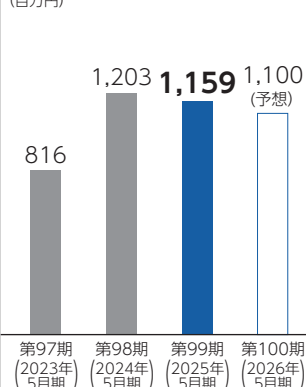


営業利益

1,159 百万円

前期比 —

(百万円)

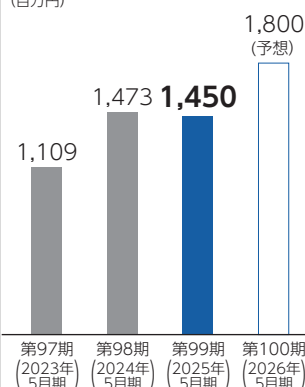


経常利益

1,450 百万円

前期比 —

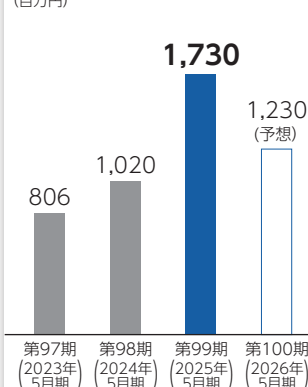
(百万円)

親会社株主に帰属する
当期純利益

1,730 百万円

前期比 —

(百万円)



(注) 2025年5月期より連結決算に移行しているため、前期比については記載しておりません。なお、2024年5月期以前については当社単体決算の数値を参考として記載しております。

2026年5月期 業績予想

売上高

27,000 百万円

前期比 —

営業利益

1,100 百万円

前期比 —

経常利益

1,800 百万円

前期比 —

親会社株主に帰属する
当期純利益

1,230 百万円

前期比 —

(注) 2025年5月期と2026年5月期において、ACE VALVE CO., LTD.の業績が含まれている期間が異なるため、前期比については記載しておりません。



詳細は、当社ホームページに掲載されている「IR情報」をご覧ください。

<https://www.nakakita-s.co.jp/ir>


株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社第99期(2024年6月1日から2025年5月31日まで)の決算が
終了いたしましたので、ここに「第99期年次報告書」をお届け申しあげます。

代表取締役社長 宮田 彰 久



■企業集団の現況に関する事項

当社は、2024年12月20日にACE VALVE CO., LTD.の全株式を取得し子会社化いたしました。本件株式取得により、ACE VALVE CO., LTD.を当社の連結子会社とし、当連結会計年度より連結計算書類を作成しているため、前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

(1) 事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益、雇用情勢・所得環境の改善を背景に、設備投資・個人消費に持ち直しの動きがみられ、公共投資も底堅く推移するなど緩やかに回復しております。しかしながら、継続的な物価上昇による消費者マインドの下振れ、通商政策などアメリカの政策動向による影響等、わが国の景気を下押しするリスクに留意する必要があり、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループの主要な受注先の造船業界では、海上輸送量の増加や、過去に大量に建造された船舶の代替需要等を背景として、次世代燃料船を含む新造船需要が改善し、手持ち工事量を十分に確保しております。需要が拡大している船用関連に加え、発電プラント等陸用関連においても、生成AI需要によるデータセンター建設に伴う電力需要案件等、国内外で積極的な営業活動を行い、顧客ニーズの掘り起こしに努める提案型営業活動を展開し、受注獲得に努め、修理やメンテナンス関連の部品注文獲得にも注力しました。

当連結会計年度における受注高は、29,445百万円となり、品種別にみますと、自動調節弁10,942百万円、バタフライ弁11,574百万円、遠隔操作装置6,928百万円となりました。

売上高は、23,768百万円となり、品種別でみますと、自動調節弁8,648百万円、バタフライ弁9,854百万円、遠隔操作装置5,264百万円となりました。輸出関連の売上高は、3,661百万円となりました。当連結会計年度末の受注残高は24,527百万円となりました。

利益面では、営業利益は1,159百万円、経常利益は1,450百万円となりましたが、特別利益として投資有価証券売却益を968百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は1,730百万円となりました。

(2) 対処すべき課題

当社グループの製造は、すべてお客様の仕様による「ものづくり」ということで、基本的に多品種少量生産となります。したがって、当社グループのものづくりは、一品一様なおお客様の仕様を満足することと、生産性向上という相反することの実現が永遠の命題となります。当社グループは、この永遠の命題に飽くなき努力を重ね、売上高の拡大、利益率の改善に取り組んで行くことが、第一義的課題であると認識しております。

国内の景気は、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、物価の継続的な上昇による消費者マインドの下振れ、米国の通商政策を含む政策動向による影響等、景気を下押しするリスクに留意する必要があり、先行き不透明な状況にあります。当社グループの主要な受注先の造船業界では、次世代燃料船を含む新造船需要が改善しておりますが、脱炭素化、労働人口の減少等外部環境の変化に、海運会社や造船会社は環境対応船へのシフトやデジタル化等の対応を進めており、船用機器メーカーにも環境対応船やデジタル化への対応が求められています。足元大きな影響はありませんが、対応の優劣が今後の業容の維持、拡大に影響を及ぼすものと考えております。

このような経営環境のなか、下記の取組みにより、企業体質の強化に努めてまいります。

- ① M&A、協業を含む攻めの投資促進と海外展開の強化
- ② 顧客関係管理による提案型営業活動、国内外アフターサービス体制の強化
- ③ 脱炭素に寄与する製品開発と販売促進、データを活用したコト売り事業の創出
- ④ DX、マスカスタマイゼーション生産体制の構築による生産性向上
- ⑤ 多様な人材の確保および育成、技能伝承

株主のみなさまにおかれましても、引き続きご支援賜りますようお願い申しあげます。

NAKAKITA



▲本館

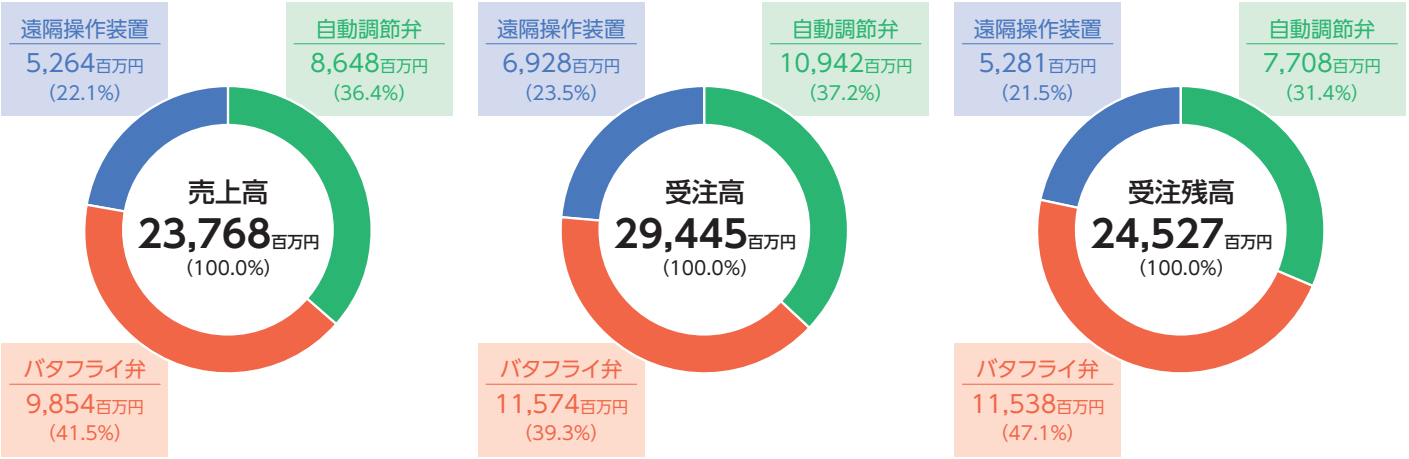
バルブを中心とした
流体制御装置の総合メーカー



▲工場全景

効率化を図った業務体制と先進の設備を誇る製造拠点、
中北のハイレベルな製品はここから生まれます。

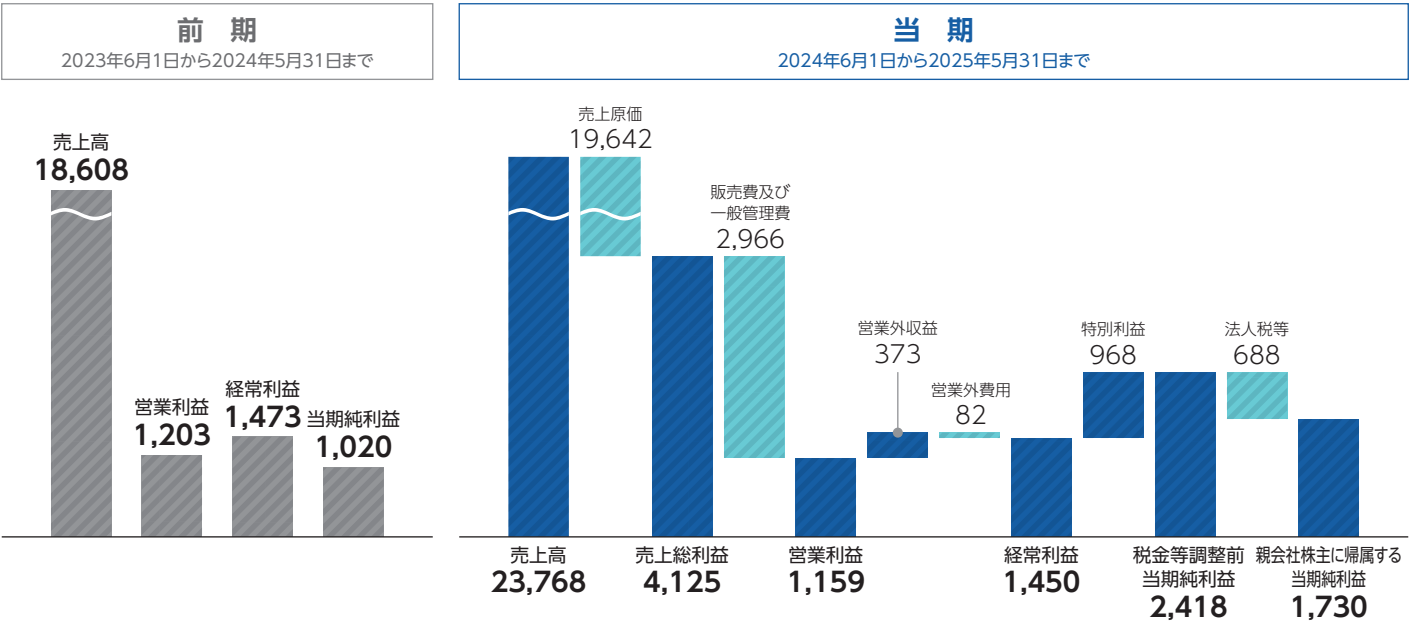
当期中の品種別売上高・受注の状況



詳細は、当社ホームページに掲載されている「IR情報」をご覧ください。
<https://www.nakakita-s.co.jp/ir>

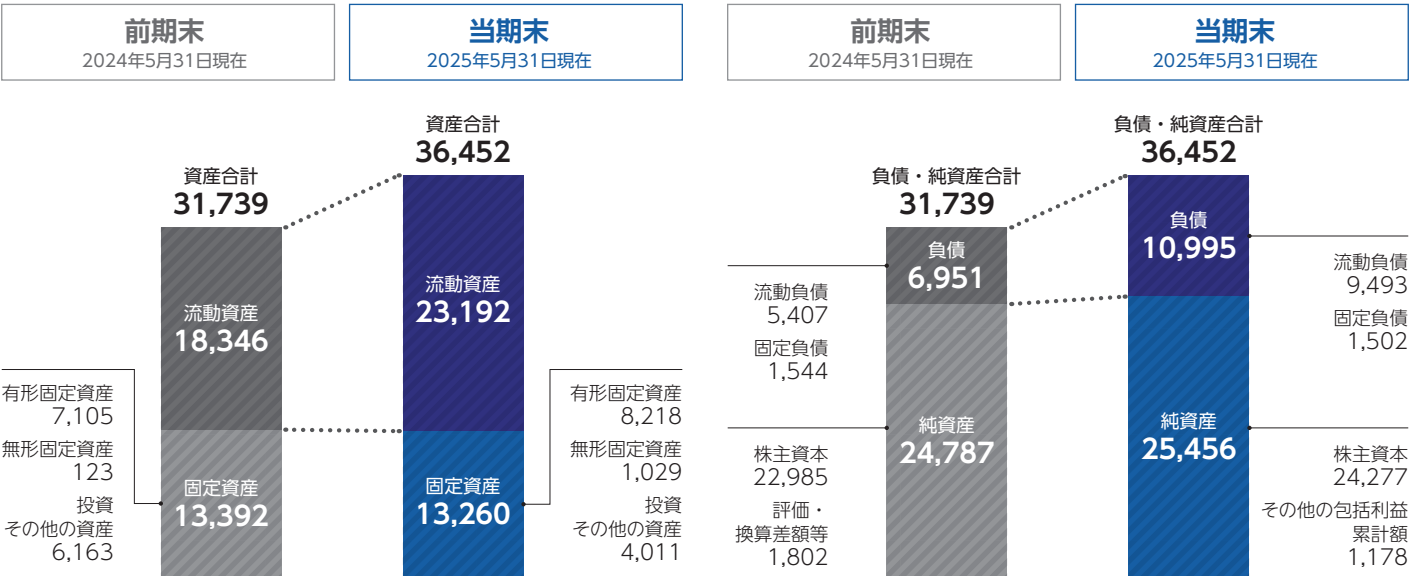


連結損益計算書のポイント (単位：百万円)



(注) 当期より連結決算に移行しているため、前期については当社単体決算の数値を参考として記載しております。

連結貸借対照表のポイント (単位：百万円)



(注) 当期より連結決算に移行しているため、前期については当社単体決算の数値を参考として記載しております。

会社概要

商号 株式会社 中北製作所
本店 大阪府大東市深野南町1番1号
会社の設立 1937年5月11日
資本金 11億5千万円
主な事業内容 自動調節弁、バタフライ弁、遠隔操作装置の製造販売

主要な事業所所在地

当 社
本社・工場 大阪府大東市深野南町1番1号
電話 072-871-1331 (代)
東京営業所 東京都港区海岸三丁目18番1号
ピアシティ芝浦ビル3階
電話 03-4212-6315 (代)
北九州営業所 福岡県北九州市小倉北区浅野二丁目11番15号
小倉興産KMM別館
電話 093-531-5481 (代)
子会社
ACE VALVE CO., LTD. 韓国金海市

役員

取締役会長 中 北 健 一
取締役副会長 池 田 昭 彦
代表取締役社長 宮 田 彰 久
取 締 役 由 上 晃 規
取締役(社外) 大 井 成 夫
取締役(社外) 福 田 あやこ
常勤監査役 森 屋 正 利
監査役(社外) 北 山 裕 昭
監査役(社外) 藤 井 秀 延

株式の状況

発行可能株式総数 15,232,800株
発行済株式の総数 3,832,800株
当期末株主数 1,894名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ミヤキタコーポレーション	442	12.67
中北 健一	264	7.58
宮田 彰久	114	3.28
黒田 知子	114	3.27
中北 仁子	114	3.27
渡部 育子	114	3.27
宮田 和子	109	3.12
宮田 宏章	106	3.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	102	2.92
由上 知恵子	97	2.78

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式341,882株を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会 毎年8月開催
基準日 定時株主総会 毎年5月31日
期末配当金 毎年5月31日
中間配当金 毎年11月30日
上記のほか必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
公告方法 当社の公告は、電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行く。なお、電子公告は当社のホームページに掲載し、電子公告を掲載する当社のホームページアドレスは次のとおりであります。
<https://www.nakakita-s.co.jp>
上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 スタンダード市場

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日および12/31~1/3を除く)
(インターネット) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
(ホームページURL)

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

Topics

当社は、当連結会計年度におきまして、ACE VALVE CO., LTD.の発行株式100%を取得し、同社を連結子会社といたしました。